

停電時の自立運転

- 停電時にはパワーコンディショナの運転ボタンまたは一括制御リモコンの運転 / 停止スイッチを操作することにより、自立運転に切り換えることができます。自立運転時は、パワーコンディショナ側面の自立運転コンセントから供給される電力により、電気製品を使用可能です。
- 連系自立自動切替の設定（8 ページ）が ON の場合は、下記の操作は不要です。

パワーコンディショナ

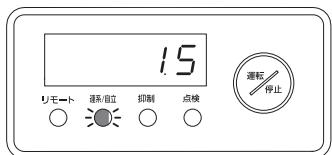
1. 表示操作部の運転ボタンを長押しして運転を停止する

- 表示が消え、連系 / 自立ランプが「停止中」の点滅パターン（）に変わり、運転を停止します。

2. 表示操作部の運転ボタンを長押しして自立運転を開始する

表示部がカウントダウンを開始すると同時に連系 / 自立ランプが点滅します（）。約 10 秒後に連系 / 自立ランプの点滅パターンが変わり（）自立運転に切り替わると、自立運転コンセントに AC100 V が出力されます。

- 自立運転時の電力表示は、自立運転コンセントに接続された機器の消費電力を表示します。
- 自立運転していても、電気製品を使用していないければ、電力表示は 0.0 kW となります。



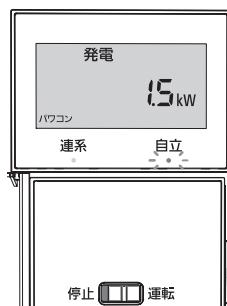
(表示例)

一括制御リモコン

1. 運転 / 停止スイッチを「停止」にする

- パワーコンディショナは運転を停止します。

2. 運転 / 停止スイッチを「運転」にする



- 10 ~ 20 秒後に自立ランプが点灯、自立運転コンセントに AC100 V が出力されます。

- 自立運転時の電力表示は発電電力（単位 : kW）です。この値は自立運転コンセントに接続された機器の消費電力と同じです。

(パワーコンディショナが運転状態になっている必要があります)

自立運転を停止する

パワーコンディショナまたは一括制御リモコンを操作し、運転を停止（上記手順 1.）する
自立運転コンセントの出力が停止します。

再び連系運転を開始する

復電を確認後、自立運転を停止してから、パワーコンディショナの運転 / 停止ボタンを長押しましたは一括制御リモコンの運転 / 停止スイッチを「運転」にして、連系運転を再開する
工場出荷時の設定の場合、約 5 分後に連系運転を開始します。
一括制御リモコン使用時は、パワーコンディショナ側でなく一括制御リモコンでの操作が必要ですのでご注意ください。

停電時の自立運転（つづき）

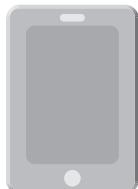
自立運転コンセントで使える機器例



テレビ



ラジオ



スマートフォンなどの充電器

お知らせ

- 通常時に自立運転の機能確認を行う場合は、一度パワーコンディショナの運転を停止し、太陽光発電システム連系ブレーカーをOFF（切）にしたあと、再度パワーコンディショナの運転を開始してください。
- 自立運転コンセントはお客様のご要望により増設することができますが、本体のコンセントと合わせて最大15 A 以下でご使用ください。最大消費電力が1,500 W以上の機器は使用できません。15 Aを超える電流が流れた場合、本機内の保護装置が働く場合があります。保護装置の起動を繰り返す場合は、自立運転コンセントへの接続機器を減らしてください。保護装置が数回働くと自動的に運転を再開しなくなります。
- くもりや朝夕など太陽電池モジュールの発電電力が少ない場合は、使用する電気製品の消費電力によって運転できずに、機器内の保護装置が働く場合があります。保護装置が数回働くと自動的に運転を再開しなくなります。